

福島イノベーション・コースト構想 拠点マップ

「福島イノベーション・コースト構想」とは

福島イノベーション・コースト構想とは、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。「廃炉」「ロボット・ドローン」「エネルギー・環境」「リサイクル」「農林水産業」「医療関連」「航空宇宙」の各分野の具体化を進めるとともに、その実現に向けた「産業集積」や「人材育成」「交流人口の拡大」「情報発信」など多岐にわたる環境整備に取り組んでいます。

Fukushima Innovation Coast Framework Location Map

福島イノベーション・コースト構想に関する詳しい情報は <https://www.fipo.or.jp>



拠点マップ デジタル版はスマホでこちらから



各拠点の情報は裏面をご覧ください

- 01 新地エネルギーセンター
Shinchi Energy Center
- 02 新地アーバンデザインセンター
Shinchi Urban Design Center
- 03 釣師防災緑地公園
Tsurushi Disaster Prevention Green Space Park

- 04 相馬LNG基地
Soma Liquefied Natural Gas Base
- 05 福島天然ガス発電所
Fukushima Natural Gas Power Plant
- 06 福島県水産資源研究所
Fukushima Prefectural Research Institute of Fisheries Resources
- 07 そまHグリーンエネルギーセンター
Soma H Green Energy Center
- 08 浜の駅松川浦
Hama-no-Eki (Beach Station) MATSUKAWAURA
- 09 道の駅そま
Michi-no-Eki (Roadside Station) SOMA

- 10 セデッてかしま
Sedette Kashima
- 11 万葉の里風力発電所
Manyo-no-sato Wind Farm

- 12 あすびと福島
Asubito Fukushima
- 13 福島県農業総合センター
福島地域農業再生研究センター
Fukushima Prefectural Hama Agricultural Regeneration Research Centre
- 14 福島県環境創造センター 環境放射線センター
Fukushima CEC Environmental Radiation Monitoring Centre
- 15 福島県ハイテクプラザ 南相馬技術支援センター
福島ロボットテストフィールド(研究棟内)
Fukushima Technology Centre
Minamisoma Technical Support Centre
- ★ 福島ロボットテストフィールド
Fukushima Robot Test Field
- 16 南相馬市産業創造センター
Minamisoma Incubation Center

- 18 小高交流センター
Odakakoryu-center
- 22 福島水素エネルギー研究フィールド(F2R)
Fukushima Hydrogen Energy Research Field
- 23 福島高度集積材製造センター (FLAM)
FUKUSHIMA ADVANCED MANUFACTURING CENTER FOR LAMINATED TIMBER
- ★ 福島ロボットテストフィールド(着陸)
Fukushima Robot Test Field - Namie Airstrip

- 24 道の駅なみえ
Roadside Station Namie
- 27 震災遺構浪江立戸小学校
Remains of the earthquake Namie Town Ukedo Elementary School
- 28 福島県復興祈念公園
Fukushima 3.11 Memorial Park
- ★ 東日本大震災・原子力災害伝承館
The Great East Japan Earthquake and Nuclear Disaster Memorial Museum
- 29 双葉町産業交流センター
Futaba Business Incubation and Community Center
- 30 東京電力福島第一原子力発電所
TEPCO Fukushima Daiichi Nuclear Power Station
- 31 JAEA大熊分析・研究センター
JAEA Okuma Analysis and Research Center

- 32 中間貯蔵工事情報センター
Interim Storage Facility Information Center
- 55 JAEA廃炉環境共同研究センター
Sector of Fukushima Research and Development Japan Atomic Energy Agency Collaborative Laboratories for Advanced Decommissioning Science (CLADS)
- ★ ふくしま12市町村移住支援センター
Fukushima 12 municipalities Relocation Support Center
- 58 東京電力廃炉資料館
TEPCO Decommissioning Archive Center
- 61 ぶたばいんぶお
Futaba Information Center
- 63 東京電力福島第二原子力発電所
TEPCO Fukushima Daini Nuclear Power Station

- 64 笑ふるタウンならは
Emifuru-town NARAHA (Compact Town)
- 66 榎葉町甘藷貯蔵施設
NARAHA sweet potato storage facility
- 69 J-Village
J-VILLAGE
- 70 広野IGCCパワー合同会社
Hirono IGCC Power GK
- 71 トロピカルフルーツミュージアム
Tropical Fruits Museum

- 73 ワンダーファーム
WONDER FARM
- 74 道の駅よつくら港
Michinoeki Yotsukurakou

世界に類を見ない一大開発実証拠点

福島ロボットテストフィールド

陸・海・空のフィールドロボットに対応する4つのエリアからなる、世界に類を見ない一大開発実証拠点。南相馬市復興工業団地内の東西約1,000m、南北500m、東京ドーム約10個分の広大な敷地を有します。また、浪江町棚田産業団地内に長距離飛行試験のため滑走路を設けています。この施設を中核として、浜通り地域等へのロボット産業の集積を図ります。



- 南相馬市と浪江町の両拠点間約13kmを飛行
福島ロボットテストフィールド
(浪江滑走路)
- あらゆる災害環境、劣化を再現
インフラ点検・災害対応エリア
<試験用プラント>
- 国内最大級の飛行空域を備える
無人航空機エリア
<緩衝ネット飛行場>
- ダム、河川、水没市街地、津波等を再現
水中・水上ロボットエリア
<水没市街地フィールド>

複合災害の記録と教訓を将来へ引き継ぐ

東日本大震災・原子力災害伝承館

福島県が経験した地震・津波及び原子力災害という未曾有の複合災害から経験と教訓を後世に継承し、国内外に発信する施設です。震災の資料を収集・保存し、展示するとともに、語り部の講話や、双葉町と浪江町沿岸部の被災地を巡るフィールドワークなどの研修プログラムを提供しています。さらに防災や復興に関する研究活動にも力を入れています。



- 震災と原子力災害を経験した住民らの生の声を聴く語り部講話
- 基礎ごと流されたポスト

- 事故直後の東京電力福島第一原発の模型(右下)など、震災と原子力災害を伝える展示
- 被災地を巡るフィールドワーク

12市町村への移住・定住を促進

ふくしま12市町村移住支援センター

東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難指示等の対象となった12市町村への移住・定住を促進するため、2021年7月1日に福島県が設置しました。広域連携や12市町村による移住施策の支援等を目的として、様々な事業を実施しています。

- ポータルサイト「未来ワークふくしま」
- ふくしま12市町村移住モニターツアー
- ふくしま12市町村移住セミナー
- ふくしま12市町村への移住相談



浜通り地域等15市町村に広がる 福島イノベ構想 拠点と復興関連施設



新地町

01 新地エネルギーセンター

新地駅周辺へ熱電供給を行う施設です。相馬LNG基地の天然ガスをコジェネレーションシステム、太陽光発電と合わせて、環境負荷の少ない熱電を供給しています。

02 新地アーバンデザインセンター

東京大学大学院新領域創成科学研究科・国立環境研究所・新地町が協働で運営しています。公・民・学の組織がノウハウを出し合っており、まちの未来づくりを推進しています。

03 釣師防災緑地公園

新地町の海沿いに広がる「防災」交流促進「震災アーカイブ」機能をテーマに子どもから大人まで楽しめる防災緑地公園です。子どもたちに人気の個性あふれる遊具や国内最大級のパントラックが設置されており、バーベキューやキャンプも楽しめます。

04 相馬LNG基地

国内最大級の23万kWh地上LNGタンクを2基擁したLNG基地です。LNG輸送船が接岸できる専用岸壁などが整備されています。海外で調達したLNGガスの受け入れ・貯蔵・気化を行い、気化した天然ガスをガスパイプライン網に送出し、沿線に供給しています。

05 福島天然ガス発電所

世界最高クラスの発電効率誇るLNG気化ガスを電気に変えることができる発電所です。ガスタービン発電と火力発電を組み合わせた「ガスタービンコンバインドサイクル(GTCC)」方式を採用しており、59万kWの出力を誇る発電設備2基で構成されています。

相馬市

06 福島県水産資源研究所

福島県の沿岸漁業再生に向け、水産種苗生産・供給及び沿岸魚類資源研究を行う拠点施設です。ヒラメやアサビ等の栽培漁業の推進や、カレイ類の資源管理の高度化といった新たな試験研究に取り組んでいます。

07 そうまIHグリーンエネルギーセンター

相馬市と相馬IHが開設した施設です。太陽光発電、蓄電池、水電解による水素製造装置、燃料電池などの発電設備を整備し、水素社会実現に向けた実証実験を行っています。また、オープンイノベーションの場として、先端技術の研究を行う研究機関や企業に情報提供を行う「そうまラボ」が併設されています。

08 浜の駅松川浦

津波で壊れた海産物直売所の後継施設としてオープンした復興市民市場です。相馬沖産の水産物を始めとする地元産品の販売コーナーと、地元企業が提供する食堂を設けています。

09 道の駅そうま

体験実習館や物産販売施設などが併設された道の駅です。市内で収穫された農産物や特産品を取り揃えています。相馬藩第34代相馬将軍松平が営む牧場の牛乳とヨーグルトで作ったオリジナルソフトクリームが人気です。

南相馬市

10 セデッテかしま

常磐自動車道 南相馬鹿島サービスエリアに隣接する施設です。一般道からも利用でき、食や買い物を楽しめます。コミュニティ広場やホール・レストランなどの休憩施設があり、また、様々な地域情報の発信を行っています。

11 万葉の里風力発電所

南相馬サステナジー(地元企業をはじめとする共同出資会社)が建設した風力発電所です。合計出力は4基で4.4MWです。

12 あすびと福島

企業向け研修や小中学生向け再生可能エネルギー体験学習など、各世代に合わせたプログラム等を企画・運営しています。

13 福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

原子力災害により避難指示区域となった12市町村の農業再開・農業再生に向けた実証研究や技術支援を行う拠点施設です。放射性物質の動態等の調査、除染後農地の地力向上、鳥獣害対策、作物の実証栽培など、幅広い研究を実施しています。

14 福島県環境創造センター 環境放射線センター

原子力発電所周辺のモニタリングや安全対策を実施するための施設です。浜地域農業再生研究センター及び南相馬オアシスセンターが隣接しています。

15 福島県ハイテクプラザ 南相馬技術支援センター

福島ロボットテストフィールド研究棟内にあります。ものづくり企業の技術力向上や新産業・新分野への参入支援を中心に活動しています。

16 南相馬市産業創造センター

貸事務所・貸工場棟の施設提供のほか、入居者の支援や、入居者と地元事業者等の交流など、ハードとソフトの両方から支援を行う施設です。新たな事業に取り組む方の活動しやすい環境の提供と、新たな産業の発展を目指します。

17 道の駅南相馬

関東大震災の第一報を世界に伝えた原町無線塔の跡地に立つ道の駅です。食堂・売店・休憩施設があり、季節を通して家族で楽しむことができる高見公園が隣接しています。

18 小高交流センター

小高区の復興拠点施設です。地元出身者が営むテナントのほか、屋内遊び場や子育てサロンなどを自由に利用することができます。

飯館村

19 いいたて村の道の駅までい館

飯館村の復興拠点施設です。杉材をふんだんに使用した温かみのある空間で、地元の物産購入や食事・休憩を楽しめます。飯館村の基幹産業である農業の再生を目指した花卉栽培施設をはじめ、子どもたちの遊び場である「ふかやまの子ども広場」や、ドッグラン「わんここの庭のびのび」などの施設が併設されています。

20 道の駅かわまた

川俣町の特産品である絹製品や川俣シャモネなど、様々な物産を販売する道の駅です。川俣シャモネ料理が楽しめるレストランなどがあります。

21 とんやの郷

山木地区の復興拠点商業施設です。日用品などの小売店や食堂、行政サービスコーナー、多目的ホールを備えています。

22 福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)

浪江町の棚田産地にある世界有数の水素製造拠点施設です。18万㎡の敷地内に設置された20MWの太陽光発電の電力を用いて、世界最大級となる10MWの水素製造装置で水電解を行い、毎時1,200Nm(定格運転時)の水素を製造し、貯蔵・供給します。

23 福島高度集材製造センター(FLAM)

県産木材需要拡大及び林業再生を目的に、大断面集材材を中心とした高度集材材を製造する施設です。

24 道の駅なみえ

海鮮丼や「なみえ焼そば」を堪能できるほか、「無印良品」の新店、新鮮野菜や海産物など多様な商品を取り揃えています。また、鈴木酒造店の酒蔵見学や大塚相馬焼の海苔体験なども楽しめます。全国初となるポケモンでいっぱい「ラッキョー公園」園内なみえまじは子どもから大人まで人気です。

25 福島国際研究教育機構(F-REI)

2023年4月に国が設立し、浪江町の仮事務所を事業を開始。我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指します。

26 福島いこいの村なみえ

勤労者福祉を目的に昭和56年に整備された宿舎施設で、震災により一時休業しましたが、木造の仮設住宅を移築・再利用した宿舎を完成し、平成30年6月に再開。現在は、水素エネルギーの活用や、町内の交流人口の拡大を図る施設となっています。

27 震災遺構浪江町立清戸小学校

東日本大震災及び原発事故により甚大な被害を受けた清戸小学校を震災遺構として一般公開しています。災害の脅威や教訓を学び、後世へ伝える施設です。

28 福島県復興祈念公園

東日本大震災による被災者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の後世への伝承、国内外に向けた復興に対する強い意志を発信することを目的に整備が進められている公園です。中央付近には国が「国営追悼・祈念施設」を設置します。

29 双葉町産業交流センター

双葉町の復興を牽引する中野地区復興産業拠点の中核施設です。東日本大震災・原子力災害伝承館や、福島県復興祈念公園に隣接しています。飲食店や土産物店などが営業し、双葉町ならではの魅力を味わえます。双葉駅からシャトルバスを運行しています。

30 東京電力福島第一原子力発電所

東日本大震災の津波により電源を喪失し、放射性物質を放出しました。現在は様々な対策により周辺環境への影響は大幅に低減され、廃炉作業が進められています。

31 JAEA大熊分析・研究センター

原発事故で発生したガレキ類、焼却灰、水処理二次廃棄物等の分析を行う施設です。令和4年9月25日に完成し、10月1日から本格稼働しています。

32 中間貯蔵工事情報センター

除染で発生した除去土壌などを最終処分するまでの間、「中間貯蔵施設」に関する工事の進捗や、安全への取組を発信する情報センターです。

33 大熊町産業交流施設

JR大野駅の西口に産業交流施設を整備中(2024年12月オープン見込)です。大熊町を事業の拠点としたい方のためのオフィス施設であると同時に、一般向けに開かれた多目的スペースでもあります。同エリアには、商業施設や広場、社会教育施設もあわせて整備していく予定です。

34 大熊インキュベーションセンター

今後、大熊町から羽ばたいていく企業や、研究・開発の脚を支援・育成する施設です。貸事務所やシェアオフィスに加えて、どなたでも利用できる交流スペースや会議室などを備えています。

35 ネクサスファームおおくま

イチゴの養液栽培を行う100%大熊町出資の株式会社です。誰でも働ける農業を目指して、作業者の負担を減らし、生産性を向上させる作業工程を追究するとともに、放射性物質全量検査を経た安全・安心なイチゴを出荷しています。

36 おおくまーと

大川原復興拠点には、商業施設「おおくまーと」をはじめ、交流施設「Link大熊」、宿泊施設「ほっと大熊」があり、住民の交流の場となっています。

37 葛尾村肥育素牛生産施設(上野川第一農場)

38 // (上野川第二農場)

39 // (大笹農場)

葛尾村が整備し、上野川第一農場は株式会社牛屋が、上野川第二農場は株式会社ヨシダアグリファームが、大笹農場は株式会社誠産産が、それぞれ運営している施設です。繁殖牛舎、分娩牛舎、育成牛舎、飼料資材庫、堆肥舎、管理棟各1棟で繁殖牛180頭規模の施設です。堆肥舎ではスクリーン式攪拌機で水分調整し良質な堆肥を生産しています。

葛尾村

40 葛尾村大笹酪農施設

葛尾村が整備し、株式会社久間牧場が運営している施設です。VMS搾乳牛舎、パーラ兼搾乳牛舎、育成牛舎、哺育牛舎、飼料庫、オガ粉保管庫、堆肥舎各1棟で搾乳牛200頭規模の施設です。ロボット搾乳機4台により24時間搾乳できます。スクリーン式攪拌機、スクープ式攪拌機により水分調整し良質な堆肥を生産しています。

41 大笹農場

全6棟の養鶏場で年間約53万羽のブロイラーを生産しています。エサやり・水やりから室内温度まですべてコンピューター管理で自動化しており、飼育中はほとんど人手がかからない仕組みになっています。

42 株式会社HANERU葛尾 パナメイビ陸上養殖施設

HANERU葛尾では、海のない山村里で、人工海水によるパナメイビの陸上養殖を行っています。葛尾村にはエビがある。エビを食べに葛尾村に行くと想像していただける観光拠点にしていきたいです。

43 復興交流館あぜりあ

葛尾村復興のシンボルの施設です。村民の交流活動を支援し、休憩や村内の情報収集のために気軽に立ち寄ることが出来ます。物産販売コーナーも併設しています。

44 葛尾村スマートコミュニティ関連施設

葛尾村再生電力(株)では、再生可能エネルギーの地産地消、防災力向上のため、約1,200kWの太陽光発電設備を3,000kWhの大型蓄電池を活用し、村内中心部に建設したマイクログリッド(自営線)から住宅や店舗等へ電力を供給、村内のデマンド交通にも活用されています。視察の申し込みも受け付けています。

45 かつらお胡蝶蘭合同会社

雇用創出・地域活性化を目的に、村内の企業と農家の有志が胡蝶蘭を栽培しています。東北や首都圏を中心とした市場に出荷しています。

田村市

46 テラス石森

廃校を活用したテラスセンターです。サテライトオフィスやコワーキングスペース、人・企業・地域の交流の場として幅広く活用することで、新たなビジネス・雇用・職業の創出、働き方改革、学び・交流・情報発信の拠点を狙っています。

47 ファーム&ファクトリー田村

最新鋭の設備を擁した大規模な完全閉鎖型工場場でレタスを生産しています。工場には世界初となる自動搬送設備や自動化設備、太陽光発電設備が導入され、カップサラダを生産できる加工施設も備わっています。

48 ホップガーデンブルドー

ホップ栽培から手がけるクラフトビール醸造所です。生産・製造・販売まで一連で6次産業化に取り組みるとともに、0次産業化(廃棄する酒や麦がすの再利用)のサイクルを通して、持続可能な循環型コミュニティの実現を目指します。

49 田村市サツマイモ貯蔵施設

サツマイモ生産振興を目的に田村市が整備し、JA福島さくらが管理運営する施設です。サツマイモの貯蔵性を高めるキュアリング処理設備とサツマイモに適した温湿度管理が可能な貯蔵設備を備えた施設です。

50 田村バイオマス発電所

県産木材(間伐材等)を燃料とする出力7.1MWの木質バイオマス発電所です。県田村バイオマスエナジーが運営し、エネルギーの地産地消を通じて県内の林業振興貢献を目指しています。

川内村

51 かわうちワイン

ワイン用ブドウ苗木は現在約12,000本あり、見晴らしのいい場所に立つワイナリーとブドウ畑は、川内村の新たなシンボルとなっています。おいしいワインを通じて川内村の新たな魅力の発信を行っています。

52 遠藤きこ園

年間20万個の園床を製造しています。園床を管理するハウスではミストを自動噴霧し、温度・湿度を細かく調整することにより、肉厚で粒の太いシタケを独自ブランド「ひたひた椎茸」として出荷しています。

53 YO-TASHI

川内村の複合商業施設です。コンビニエンスストアやクリーニング取次店、生活雑貨店が営業しており、住民の交流施設にもなっています。

54 KiMiDoRi

LEDや蛍光灯の光と炭酸ガス(CO₂)により光合成を促し、培養液から栄養を与え、リーフレタスを栽培しています。

55 JAEA廃炉環境国際共同研究センター

原子力発電所の廃炉推進を推進するため、国内外の大学・研究機関・産業界等の人材が交流できるネットワークを形成し、産学官による研究開発と人材育成を一体的に進める体制を構築しています。

56 とみおかアーカイブ・ミュージアム

富岡町を中心に地域の歴史とその特長を伝えるとともに、地域の運命を変えた震災と原子力災害を歴史の大きな1ページとして継承し、富岡町の経験を将来に、世界に発信します。

57 ふたば医療センター附属病院

福島県立医科大学の協力により、地域に必要な救命医療・在宅医療・健康増進支援などを提供しています。住民や復興事業従事者の方々の安心を医療面から支えています。

58 東京電力廃炉資料館

福島第一原子力発電所から約9kmのところにある資料館です。原発事故の事実と廃炉事業の現状などが確認できます。

富岡町

59 さくらモールとみおか

公設民営の複合商業施設です。ホームセンター、スーパーマーケット、ドラッグストア、飲食店があり、同敷地内には富岡町地域交流館(富岡わんぱくパーク)もあります。

60 とみおかワーキングベース

コワーキングスペース、個室、会議室を備えるサテライトオフィス。富岡町及び双葉郡に拠点を構えている企業やスタートアップ、大学等が連携して新しい産業を創出する拠点です。地域課題をオープンイノベーションで解決するアクセラレータプログラムも実施します。

61 ふたばいんふお

双葉郡の情報発信及び地域住民の交流施設です。双葉郡8町村の資料を多数展示しており、住民目線で双葉郡の復興を発信しています。スタディツアーの受け入れ、物産品の購入も可能です。

62 リプルンふくしま

環境省が所管する特定廃棄物処理処分事業の情報館です。放射性物質に汚染された廃棄物の処理処分について分かりやすく学べる体験型の施設です。

63 東京電力福島第二原子力発電所

東日本大震災発生時、津波によって大きな被害を受けながらも、炉心溶融事故を免れた原子力発電所です。現在は、廃炉作業が進められています。

64 えび笑ふるタウンならは

楢葉町の復興拠点として、交流館、商店街、災害公営住宅、診療所が集約されたエリアです。楢葉町における再生可能エネルギーを活用した「災害に強く持続可能な低炭素まちづくり」の実証拠点でもあります。

65 楢葉町カントリーエレベーター

楢葉町が整備し、JAが運営している施設です。稲(もみ)の乾燥から精選、貯蔵、穀すり、袋詰めなどを一貫して行います。町内の農家が持ち込んだ穀を約1,000t保管でき、併設の自動ラック式米農薬用低温倉庫では玄米を約600t保管できます。

66 楢葉町甘藷貯蔵施設

楢葉町が整備し、株式会社しほりとはが運営している施設です。甘藷の長期保存が可能となるキュアリング室や最大1,260tの甘藷貯蔵庫を備えた国内最大級の施設となっています。

67 道の駅ならは

国道6号沿いにある道の駅です。楢葉町の特産物を中心にお土産などを豊富に取りそろえています。2階には天然温泉やコワーキングスペースがあり、旅の疲れを癒したり、お仕事をしながらつづかえます。また、Wi-Fiや電源、水道を完備したRVパークとEV急速充電器も併設しています。

68 JAEA楢葉遠隔技術開発センター

福島第一原子力発電所の廃炉作業に必要な遠隔操作機器(ロボット等)の開発・実証試験を行う施設です。一般のロボット等の開発実証試験、関連技術の人材育成の他、講演会・会議等にも利用することができます。

69 Jヴィレッジ

サッカー日本代表が利用することで知られるナショナルトレーニングセンターです。様々なスポーツの大会や合宿、イベントなどが開催されています。レストラン、ホテル、フィットネジム、売店なども併設しており、一般のお客さまの利用も可能です。

70 広野IGCCパワー合同会社

日本初のIGCC(石炭ガス化複合発電:543MW)商用設備です。石炭をガス化し、ガスタービン・蒸気タービンを組み合わせて発電することで、従来型石炭火力と比較し高効率かつCO₂排出量低減(約15%)を実現しました。

71 トロピカルフルーツミュージアム

広野町の新しい特産品となるよう希少な国産バナナなど南国フルーツを栽培しています。土日も販売しています。

72 ひろのてらす

広野町役場隣(国道6号線側)にある公設商業施設です。イオンや飲食店、クリーニング店が入居しています。

73 ワンダーファーム

「五感を耕す。農と食の体験ファーム」をコンセプトにしたトマトのテーマパークです。トマトの収穫体験や様々なトマト料理を堪能できるレストランが人気です。

74 道の駅つくら港

四倉漁港のそばに立つ道の駅です。1階は地元の物産品や土産品などの販売コーナー、2階は太平洋を眺めながら食事ができるフードコートとなっています。

75 いわき震災伝承みらい館

東日本大震災で津波の大きな被害を受けた場所にある施設です。複合災害の状況から復興に向けた様子を時系列に展示しています。災害を体験した震災語り部による講話も土・日・祝日に開催しています。

76 福島県水産海洋研究センター

福島県の水産復興・再生に向け、放射線研究棟を備えた研究施設です。福島県沖の漁介の資源動向調査や、東日本大震災以降実施している放射線モニタリング検査を踏まえた県産魚類の安全性を発信しています。

77 勿来IGCCパワー合同会社

日本初のIGCC(石炭ガス化複合発電:525MW)商用設備です。石炭をガス化し、ガスタービン・蒸気タービンを組み合わせて発電することで、従来型石炭火力と比較し高効率かつCO₂排出量低減(約15%)を実現しました。

楢葉町

川内村

富岡町

いわき市

富岡町

葛尾村